

～敬老の日に「火の用心」の贈り物～

# 住宅防火・防災キャンペーン

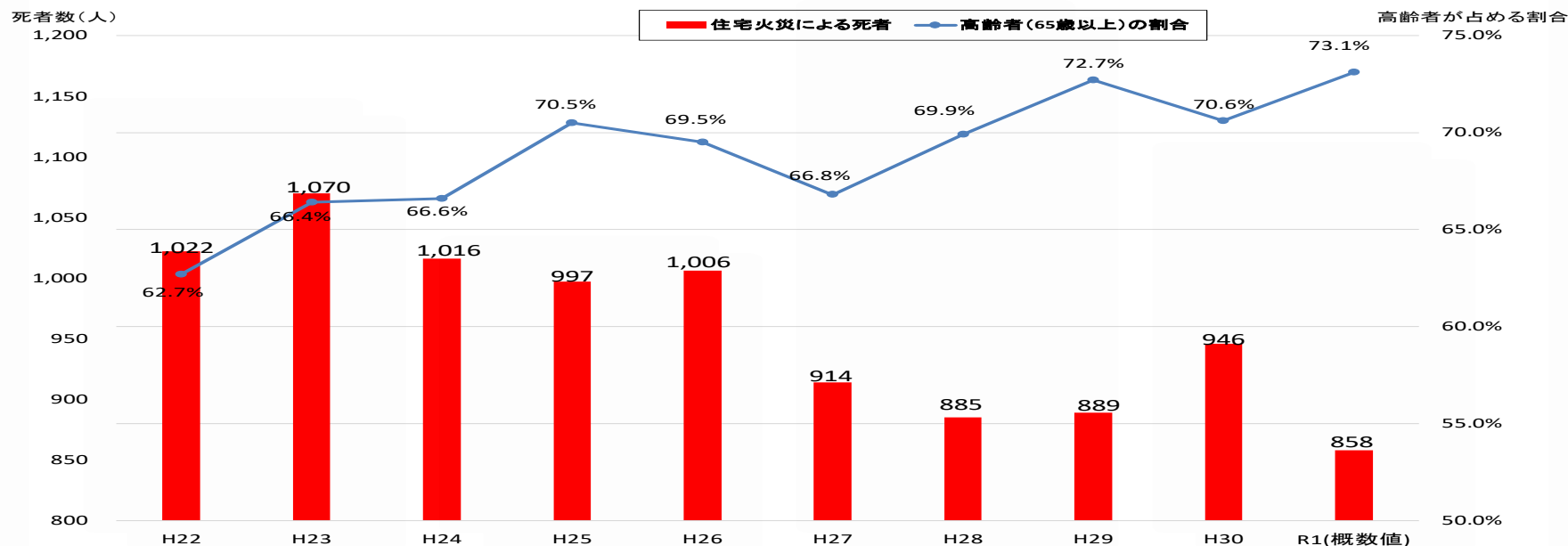
住宅火災における死者のうち、約7割が65歳以上の高齢者となっています。  
高齢化の進展とともに、高齢者の住宅火災における死者の増加が懸念されています。

## 住宅防火・防災キャンペーンとは？

近年の住宅火災の死者に高齢者が多いこと、また今後も高齢化の進展が予想されることから、消防庁では、住宅火災から高齢者を守るため、敬老の日を中心に、改めて高齢者に火災予防を注意喚起するとともに「住宅火災警報器」や「住宅用消火器」または「防災品」等のプレゼントや、設置されている住宅用火災警報器の点検や交換を高齢者に代わり実施することなどを推進する「住宅防火・防災キャンペーン」を平成24年度から展開しています。

大切なおじいちゃんやおばあちゃんが火災の被害に遭わないよう、敬老の日は身近な防火対策を考える敬老の日にしてはいかがでしょうか？

住宅火災における死者数の推移(平成22年～令和元年の10年間)



## 住宅用火災警報器を点検しましょう。

### ➤ 逃げ遅れを防ぐために

住宅火災で死者が発生する要因のうち多いのは、発見が遅れ、気づいた時は火煙が回り、既に逃げ道がなかったと思われる時間このようなことを防ぎ、火災の発生を早く知るために、現在、各自治体の火災予防条例で寝室や台所等に「住宅用火災警報器」を設置することが義務付けられています。この「住宅用火災警報器」の電池は、約10年がその寿命とされており、また、故障する可能性も考えられると、年2回程度の定期的な点検が必要となります。是非この機会に高齢者の家に設置されている「住宅用火災警報器」を、高齢者の代わりに点検してあげましょう。

早く知る！



## 住宅用消火器を用意しましょう。

### ➤ 火災を小さいうちに消すために

火災が発生したときに「消火器」で初期消火を行うことは、被害を最小限に食い止めるためにも非常に重要です。ただ「消火器」というと「大きいから置く場所がない」「重くて火事の時にうまく使えるか不安」と思っている方も多いのではないのでしょうか。消火器には、小さくて軽い「住宅用消火器」や、スプレー式で高齢者でも扱いやすい「エアゾール式簡易消火具」といったものも販売されています。特に高齢者がいるご家庭には、このような器具を備えておくことをお勧めします。

早く消す！



## 防災品を使いましょう。

### ➤ 寝具、衣類、カーテンからの火災の拡大を防ぐために

死者が発生した住宅火災で、最も多い出火原因は、たばこによるものです。なかでも寝たばこにより発生した火災で多くの死者が発生しています。

また、調理中に、コンロの火が衣服に燃え移ることにより亡くなる高齢者もいます。このような火災による死者を減らすため、枕・布団などの寝具やパジャマやエプロンといった衣類に燃えにくく作られた「防災品」を使用することをお勧めしています。また、カーテンやじゅうたんなども「防災品」であれば、万が一火災が発生しても、急激に火災が拡大するのを防ぐことができます。車やバイクのボディーカーバーなども同様に「防災品」を使用することが、放火による火災の拡大防止に大変有効です。

火を拡大させない！

